

政治経済講演會講演集 第七十四輯 昭和十三年七月

エミリオ・ルツス著

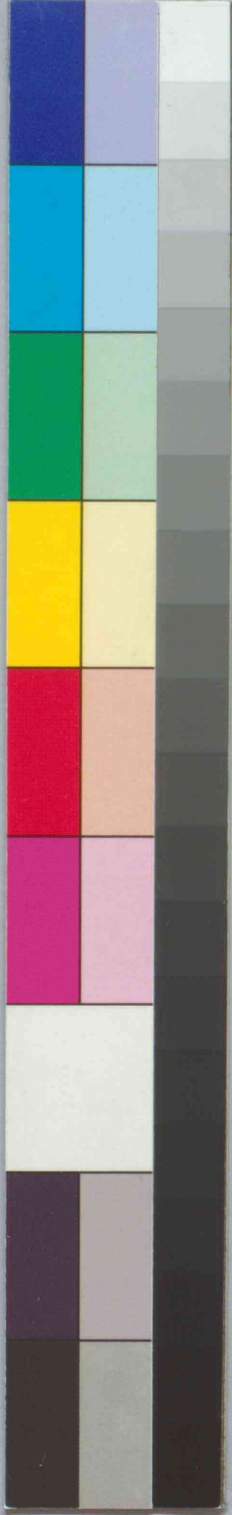
ムツソリーニを葬る

ロンドン

一九三六年

國政研究會

中 津島 立 馬 祥
館 書 図 立 馬 祥



7182

注意事項

- 資料は大切に扱きましょう。
- 資料は転貸借はお断りします。
- 15日間の期限に必ず返して下さい。
- 資料を汚損または紛失した時は同一の資料又は相当代価を弁償していただきます。

群馬県立図書館
前橋市日吉町一丁目14-8
電話 (0272) 3008番

No.

資料三三七輯

昭和十三年七月二十九日

マエ
リオリ
オン
オ・
ツ
ソ
ル
ツ
ソ
ン
ス
譯
着

△ ツソリ — 二を葬る — 全二三八頁 —

倫敦
メシ
ュー
ン
書
店
一
九
三
六
年

Lewis, Emily (Rawson, M., - Translator);
Enter Masahiro,

London
1936,
Routledge & Co.

13,815

國
政
研
究
會

はしあき

昔者はフアツレスト反露派のテモク
ウヤ鹿の代議士。

サルチニアに生れ、大学卒業間際に大戦に遭ひ、戦線に出た。大戦終結と共に帰國して代議士、辯護士となり、混乱時代の伊太利、フアツレスト發生期の伊太利で活動した。

及フアツレストの腐心由り ムツソリ

ニに捕へられて、リパトリ島に投獄されたが、一九二九年カ
ルロ・ロゼツリ、フアウストニツチ等と脱獄した。

本書は着者の嘗時に於ける体験を列記したものであって、
 ファツシズムの正史ではない。唯だ現伊太利のリーダー達の
 学友であり、大戦当時の戦友でも反ファツシストである着
 者が、身辺目の辺りに見たファツシスト裏面史として偽りな
 きものと謂ふ。

着者はファツシズムは伊太利の歴史から見れば、極めて短
 期間の政治的一型態に過ぎない。世界は極左にも極右にも長
 く偏らず、周期的に律動するものだと謂ふ見地に立つてゐる。

Handwritten notes in Japanese, including the name "HOGAN" and other illegible characters.

支那の頃かゝる畫に帝國主義的言辭を機關誌に
 掲載し却めた。併し當時紙は未だ軍人の手に
 人筆か貫かりた。
 一九一九年夏の、凱旋兵士が、存大寺に於
 ても、ムソソリニは演説すゝことを評す水
 文ありた。併し自分か参加しな、戦争を呼喚
 するの如と評す者もあるし、又負傷して道
 邊に水たきと告ぐ者ありた。又水たき又道
 へたき出、行水たきありた。又水たきと
 のもありた。

此の頃かゝる畫に帝國主義的言辭を機關誌に
 掲載し却めた。併し當時紙は未だ軍人の手に
 人筆か貫かりた。
 一九一九年夏の、凱旋兵士が、存大寺に於
 ても、ムソソリニは演説すゝことを評す水
 文ありた。併し自分か参加しな、戦争を呼喚
 するの如と評す者もあるし、又負傷して道
 邊に水たきと告ぐ者ありた。又水たき又道
 へたき出、行水たきありた。又水たきと
 のもありた。

平分子がニソソリ一=の下へ集つた。
 大騒ぎをやつた。此等の中や、右取巻の不
 と頼ふやが、何れか其後此の小作自命の事あり、奮はれると謂ふやが
 大空教授等は、露西亜で婦女國有を宣言した
 か、アアアア、ストを支持した。革命の知人の某
 長、~~の~~が、蓋形家、地を何句辯、中差階級迄
 害也、一長頃である。此の頃共産主義が抬頭し
 又、レナチがアアアアを占領して、組合黨を
 フアアア、スト党を造つて現水と来たのは、
 それが一転してアアアストと成つた。何か

國政研究会

此の頃共産主義が抬頭し、
 又、レナチがアアアアを占領して、
 フアアア、スト党を造つて現水と来たのは、
 それが一転してアアアストと成つた。何か

暴力を以て議會から追放し去らば、
 ヲリ一ニ之は加はつて居るか。
 代議士として最善の議會に於て、
 其の演説は反動的である。反議會主義、
 毛々三三の反社會主義的の如く、
 其社會主義的の如く、
 如く、
 此の如く、
 之等の如く、
 見解を悪く諷刺が、
 のやうな考へが、
 とやうな考へが、
 併し

國政研究會

暴力を以て議會から追放し去らば、
 ヲリ一ニ之は加はつて居るか。
 代議士として最善の議會に於て、
 其の演説は反動的である。反議會主義、
 毛々三三の反社會主義的の如く、
 其社會主義的の如く、
 如く、
 此の如く、
 之等の如く、
 見解を悪く諷刺が、
 のやうな考へが、
 とやうな考へが、
 併し

此の時代に於ては、
 軍備強化、司法制度の確立、
 外交政策樹立、その他一切の任務は、
 自衛隊に残す。この主張は、
 如く、口頭組織の大綱は出来上り、
 未

此の時代に於ては、
 軍備強化、司法制度の確立、
 外交政策樹立、その他一切の任務は、
 自衛隊に残す。この主張は、
 如く、口頭組織の大綱は出来上り、
 未

之に呼應す。如く
 及フアワシト
 牙御者縣盟加
 出表長
 農民
 之は伊太利牙御者
 加
 民主的自由
 防護
 之は伊太利牙御者
 加
 民主的自由
 共同の敵
 フアワシト
 牙御者縣盟加
 出表長
 農民
 之は伊太利牙御者
 加
 民主的自由
 抗
 の野を揮用
 一
 敗
 一
 之
 右翼政府
 左翼政府
 伊太利は
 未嘗有の
 劃的
 十字路に立つて
 其の力
 國王は事態の
 あり
 重大なる
 あり
 何れとも
 未し
 其の力
 あり

之に呼應す。如く
 及フアワシト
 牙御者縣盟加
 出表長
 農民
 之は伊太利牙御者
 加
 民主的自由
 防護
 之は伊太利牙御者
 加
 民主的自由
 共同の敵
 フアワシト
 牙御者縣盟加
 出表長
 農民
 之は伊太利牙御者
 加
 民主的自由
 抗
 の野を揮用
 一
 敗
 一
 之
 右翼政府
 左翼政府
 伊太利は
 未嘗有の
 劃的
 十字路に立つて
 其の力
 國王は事態の
 あり
 重大なる
 あり
 何れとも
 未し
 其の力
 あり

9	つ	世	歩		ゆ	や	し	選
心	ア	界	加	其	け	る	こ	挙
の	ワ	陸	印	處	り	が	好	は
直	夕	軍	赤	が	水	最	結	依
に	休	大	青	ハ	雨	良	果	る
旅	休	尾	長	ソ	松	の	を	こ
に	ハ	の	大	リ	之	第	有	と
乘	ソ	割	大	一	を	二	さ	は
つ	リ	を	大	ニ	あ	の	す	排
て	一	要	大	と	る	と	い	し
長	ニ	求	大	フ	は	決	ハ	長
が	の	加	大	ア	ハ	し	カ	が
周	魂	入	大	リ	政	ハ	ク	暴
作	境	つ	大	ク	府	ハ	一	動
申	を	二	大	と	内	ハ	テ	も
に	知	お	大	の	々	ハ	夕	亦
反	う	る	大	中	ハ	ハ	一	決
	な	い	大	心	ハ	ハ	ハ	
	い		大	は	ハ	ハ	ハ	

選挙は依ること
 暴動も亦決
 結果を有さず
 結局ク一テ夕一と
 最良の策ありと決した
 雨松之を
 大尾の割を要加の入りぬる
 魂境を知らず
 周作申に反
 長が周作申に反
 其處がハソソリニとフアリクとの了ん又文
 歩加印赤長の
 世界陸軍大尾の割を要加の入りぬる
 9心の直に旅に乗つて長が周作申に反

國政研究會

選	挙	は	依	る	こ	と		
暴	動	も	亦	決				
結	果	を	有	さ	ず			
最	良	の	策	あ	り	と	決	し
雨	松	之	を					
大	尾	の	割	を	要	加	の	入
魂	境	を	知	ら	ず			
周	作	申	に	反				
長	が	周	作	申	に	反		
其	處	が	ハ	ソ	ソ	リ	ニ	と
歩	加	印	赤	長				
世	界	陸	軍	大	尾	の	割	を
9	心	の	直	に	旅	に	乗	つ

選挙は依ること
 暴動も亦決
 結果を有さず
 最良の策ありと決した
 雨松之を
 大尾の割を要加の入りぬる
 魂境を知らず
 周作申に反
 長が周作申に反
 其處がハソソリニとフアリクとの了ん又文
 歩加印赤長の
 世界陸軍大尾の割を要加の入りぬる
 9心の直に旅に乗つて長が周作申に反

此批人。
 七一五時
 我前全解除の命令あり。
 口口は結局
 我前全解除の命令あり。
 口口は結局

47777777

此批人。
 七一五時
 我前全解除の命令あり。
 口口は結局
 我前全解除の命令あり。
 口口は結局

47777777

五、
 廿九日、イニヤ島には及ブアワシスト気運が
 充満して居たが、ローマ進軍が成功すると、
 穴穿は盡くアワシスト側になつた。島内で
 もアワシストの示威運動が起つた。ロ
 マ進軍の翌日の以て、自らはアワシスト
 の暴徒を攻撃し、治安維持に努め、和を
 した。然し、時令場の内外に兩派の衝突が起り、
 アワシストは武裝を有する者及びアワシスト
 派に襲撃し、員傷者と先死した。

五、
 廿九日、イニヤ島には及ブアワシスト気運が
 充満して居たが、ローマ進軍が成功すると、
 穴穿は盡くアワシスト側になつた。島内で
 もアワシストの示威運動が起つた。ロ
 マ進軍の翌日の以て、自らはアワシスト
 の暴徒を攻撃し、治安維持に努め、和を
 した。然し、時令場の内外に兩派の衝突が起り、
 アワシストは武裝を有する者及びアワシスト
 派に襲撃し、員傷者と先死した。

専ら及フアツシトを際立し。此の問題に
 関し自分は直ちに同地憲兵司令官の少佐に
 談一を加、可及アツシトはフラスから費
 金を費フニ居る國賊と許り。相子とし
 たり。遺恨行為を谷めぐも、法律等問題に
 心と一笑に附し。了。自分は今少佐に對し、
 代議士と雜し。居るの如くあるかと疑念を
 するが、少佐は昨日あつた、
 あつたこととある。何と、
 の面談中戶外には聲にアツシと、
 此

此の面談中戶外には聲にアツシと、
 此

午口の聲が南之る。
 今談丈烈の儘帰りのけりと
 傷から鏡で摸られた。 骨傷を員ふり病院に運
 心込すれたか、 病院外には同僚女子群衆が日
 少いのう、 ールフス 回ルフスカ 即ちやうに也
 と絶叫すよ。
 自分ほ此の時から 唯心フアツシストに反
 抗するの牙の如く、 フアツシストが支那する
 國事と密かに繋がる。 大動搖を前
 行し此の事件は かん和イニヤ 大動搖を前

國政研究会

此の聲が南之る。 今談丈烈の儘帰りのけりと 傷から鏡で摸られた。 骨傷を員ふり病院に運 心込すれたか、 病院外には同僚女子群衆が日 少いのう、 ールフス 回ルフスカ 即ちやうに也 と絶叫すよ。 自分ほ此の時から 唯心フアツシストに反 抗するの牙の如く、 フアツシストが支那する 國事と密かに繋がる。 大動搖を前 行し此の事件は かん和イニヤ 大動搖を前

六
 ムワソリーニは一〇二二年十一月十六日、
 めて首相として議席に臨んだ。其の日は、
 四は議席の運命を知らぬ如き面持に、
 七^控之^二ぬ^一は。前者相たるサラソ、
 一三、アリアの三人は、
 一^二ぬ^一は。ニワ^四は^三議席^一は。其の時、
 リリ^一ニの演説の要旨は、
 今日自由は型の如く諸君の^二注意^一を
 表す。併し^三諸君^一の^二注意^一を^三表す^一こと

吾れ、演説

演説の要旨は、今日自由は型の如く諸君の注意を
 表す。併し諸君の注意を表すこと

一九二二年十一月、前約に反して、サレハ
 イニアビ用心ヲアツシストの暴行が始マツた。
 妹の商題は既に解決の方地が無かつたのが、
 余は退院すよと同時トヒ一ニ赴き、善後交
 渉をしつけ水は取らなかつた。
 余は其の余上、嘗て最大戦中の戦友たりし
 待従武官に遭つた。其の字號の結核は次の如
 くである。

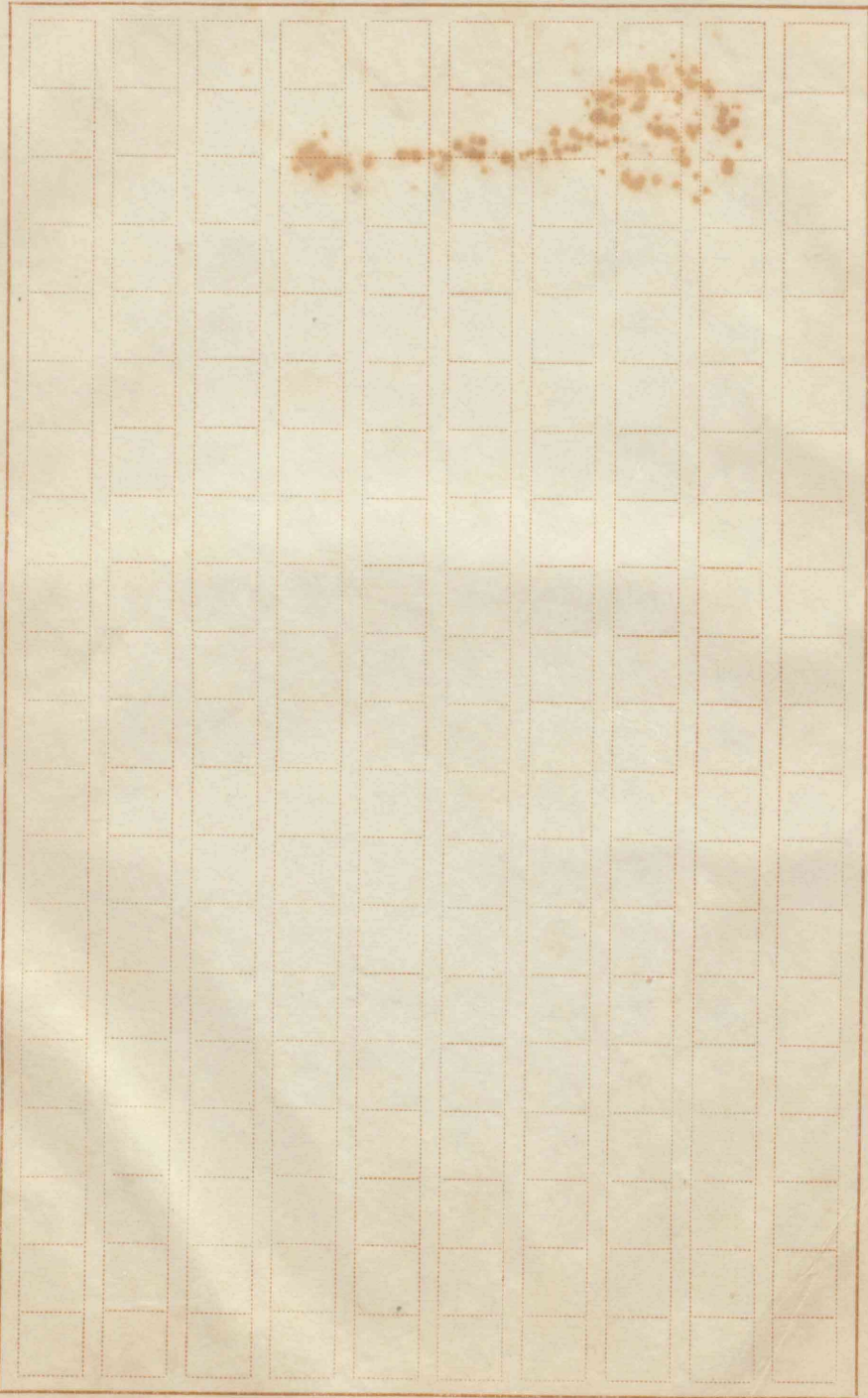
國五はのソリトニハ射トニ、埃大利皇帝

國政研究會

1922年11月、前約に反して、サレハ
 イニアビ用心ヲアツシストの暴行が始マツた。
 妹の商題は既に解決の方地が無かつたのが、
 余は退院すよと同時トヒ一ニ赴き、善後交
 渉をしつけ水は取らなかつた。
 余は其の余上、嘗て最大戦中の戦友たりし
 待従武官に遭つた。其の字號の結核は次の如
 くである。

國五はのソリトニハ射トニ、埃大利皇帝

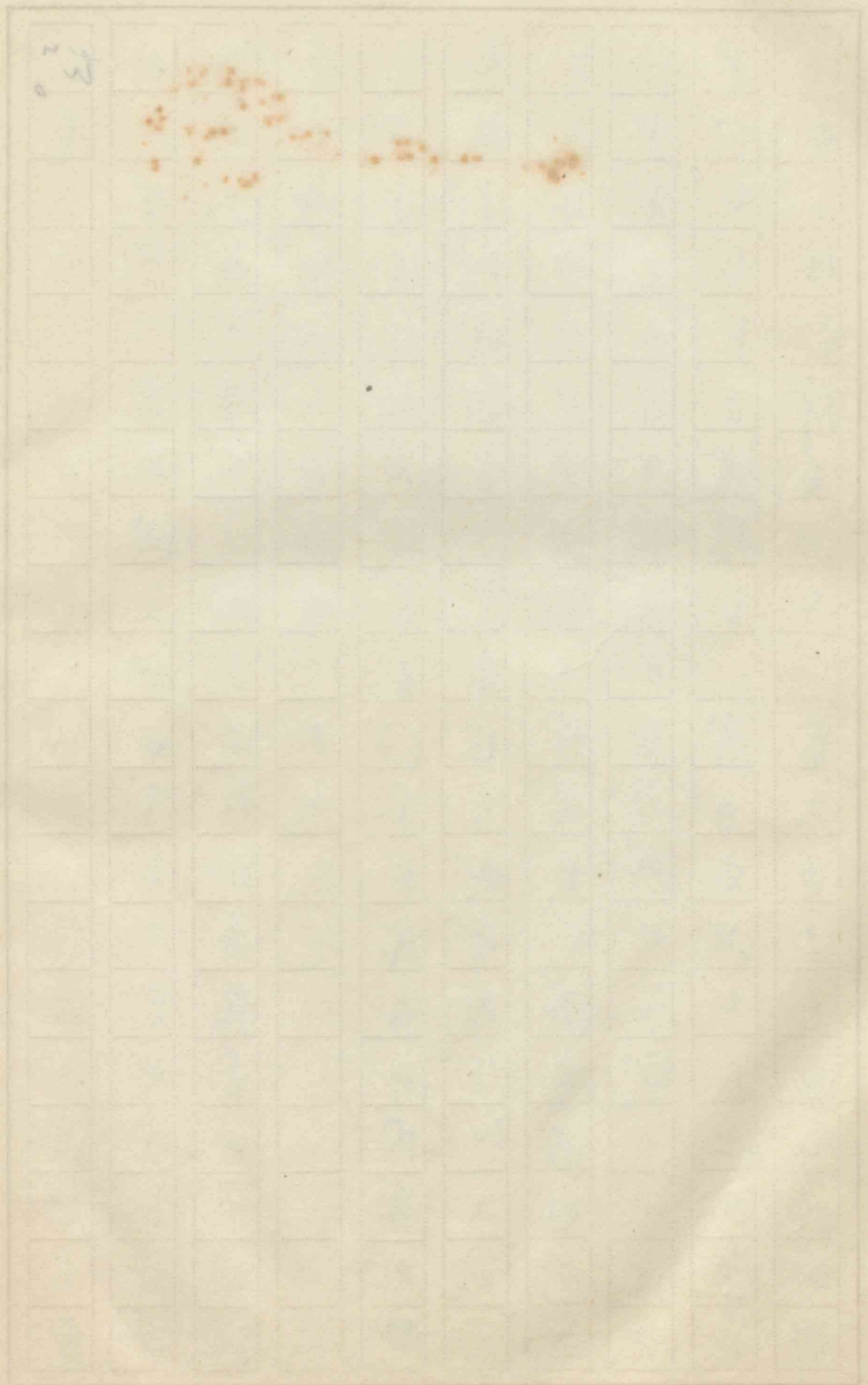
No.



13. 6. 50.000 寸納

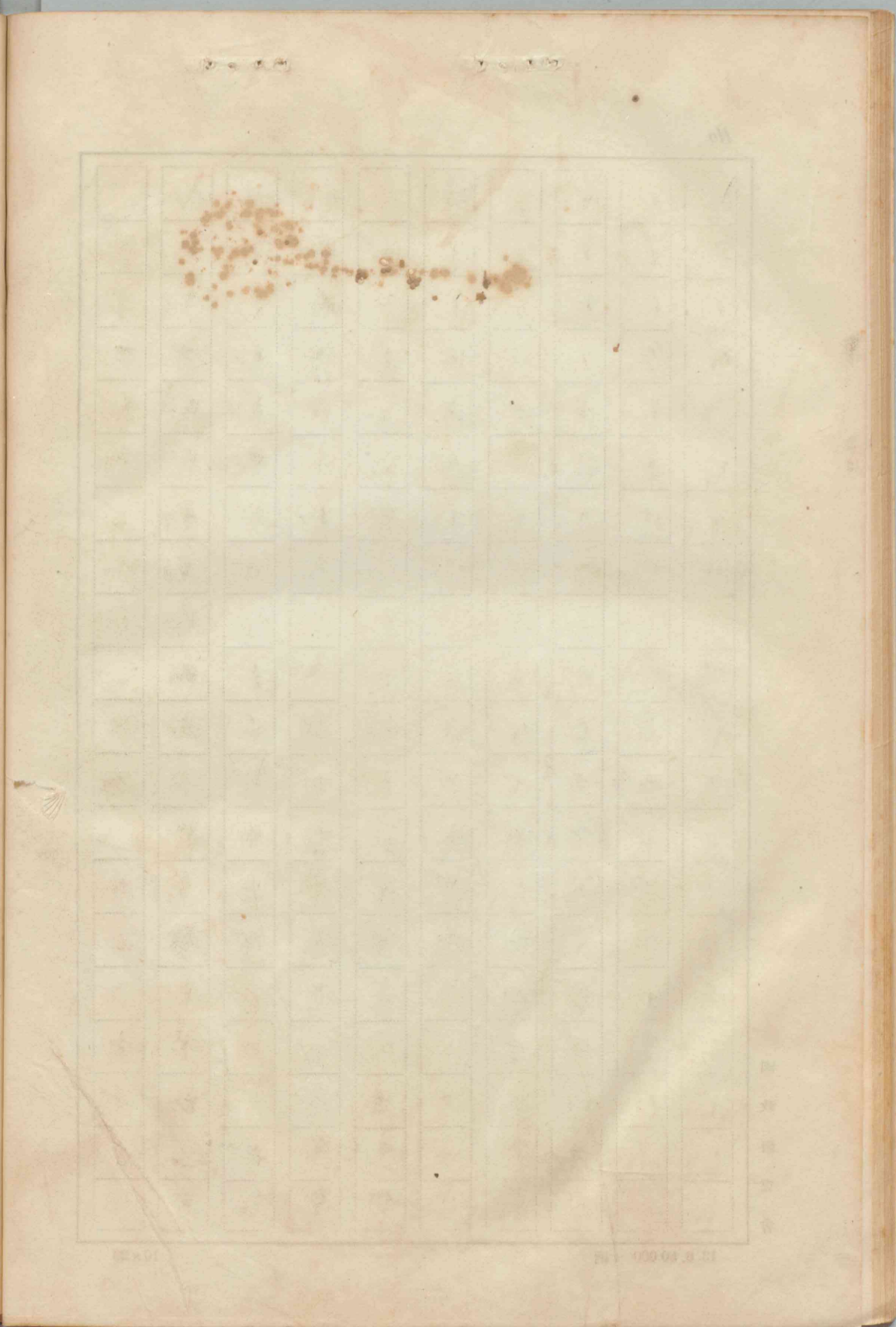
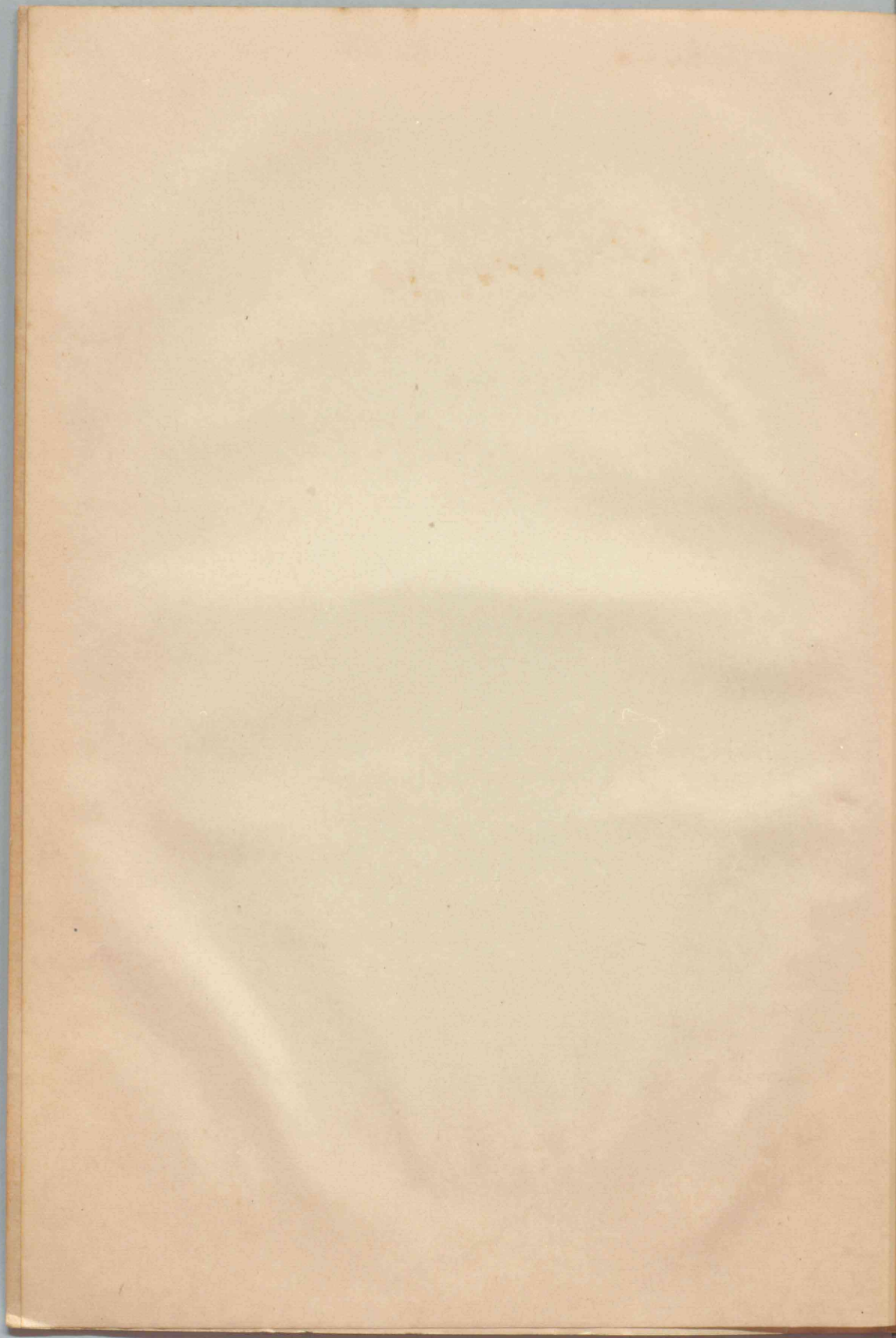
10 × 20

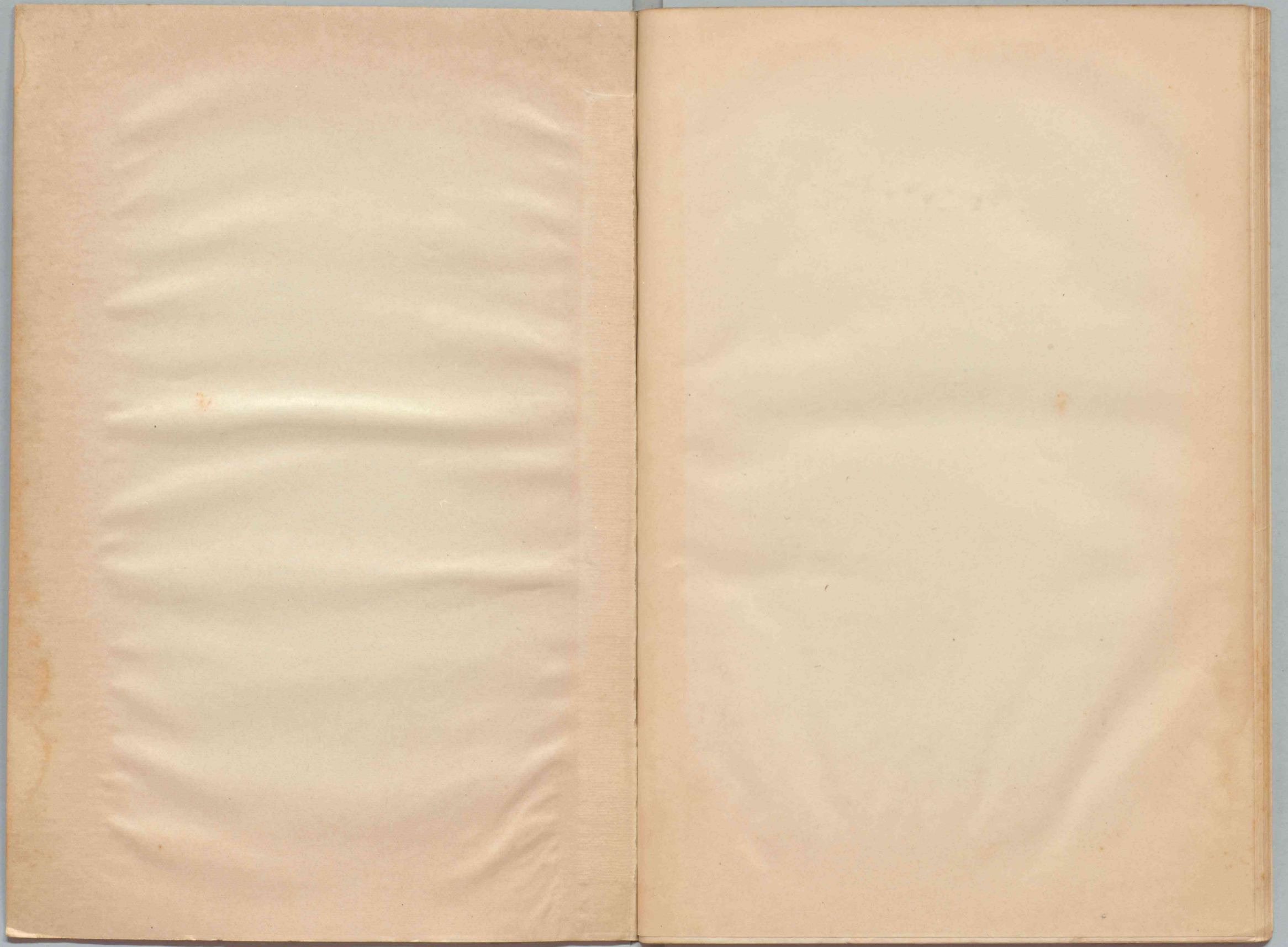
國
政
研
究
會



10 × 20

13. 6. 50.000 寸納





群馬県立図書館



0707182-2